



参加者が大量のごみを集めた出来島海水浴場

つがる

つがる市の出来島海水浴場と車力地区のサンセットドーム付近の海岸で2日、今年で3年目の「ビーチクリーン」活動が行われた。市内外から親子や若者を中心にボランティア約100人が集まり、大量の漂着ごみなどを拾い集めた。

活動は、出来島海岸で長年サーフィンを楽しんでいる同市のSAYAKAさん(39)＝本名非公表＝が、「地元の海岸をきれいにしたい」と数年前から自主的に清掃していることがきっかけ。同海岸は漂着物や不法投棄とみられるごみが目立つという。今も週に数回、清掃しているSAYAKAさんが、海開き

地元の家きれいに 海水浴場などで100人清掃奉仕

の季節を前に交流サイト(SN S)で参加者を募集。三沢市、八戸市など遠方からも趣旨に賛同した人たちが駆け付けた。

出来島会場では約50人が外国製のプラスチック容器やポリタンク、ペットボトルなどを拾った。SAYAKAさんは「ここは本当にごみが多い。活動を通じて大勢の人たちが現状に関心を持ってくれれば」と期待した。

車力会場では、プロバスケットボールBリーグ2部の青森ワッツの選手や、再生可能エネルギー関連企業「インフラックス」の社員、車力漁協の関係者も参加。ごみの処分費は同社が支援する。ワッツのブースターだという青森市の風晴清政さん(49)は「たくさんごみがあった。ポイ捨てなどほしくないよう自分も気をつけようと思った」と話した。(長内健)